

さめき水田宮農だより

香川県への24年産米の生産数量目標の配分が決まりました!

国は、需要に見合った生産を基本とした各県の需要実績に、生産調整の達成状況など一定の配慮を行い、24年産米の各都道府県の生産数量目標を算定し、12月1日に公表しました。



本県の24年産米の生産数量目標等

全国が必要量が0.3%減となったうえ、香川県産米の需要実績（過去6年のうち、最大と最小を除く4ヶ年の平均値）の全国需要実績に占める割合は、生産調整の達成等に対する一定の配慮がなされたものの23年産米より下がりました。

その結果、国から香川県に対しては、前年比1.5%減の72,450トﾝ（14,520ha）の生産数量目標が配分されました。

区分	平成24年産米	平成23年産米 (生産数量目標)	前年対比	参考)24年度営農計画調査の結果	
				水稻作付計画	24年産米生産数量 目標との対比
香川県 (面積換算値)	72,450トﾝ (14,520ha)	73,550トﾝ (14,740ha)	▲1,100トﾝ ▲220ha	76,700トﾝ 15,363ha	4,250トﾝ 843ha
全国 (面積換算値)	793万トﾝ (150万ha)	795万トﾝ (150万ha)	▲2万トﾝ -		

今後、各市町ごとの生産数量目標は、有識者等で構成された香川県農業再生協議会からの意見を聴いて、県から各市町へ配分されます。

各地域では、県からの配分を受けた後、地域農業再生協議会の協議を経て、生産調整方針作成者であるJAから、農業者別の生産数量目標を農業者の皆様に配分されます。

農業者の皆様には、戸別所得補償制度のメリット(米の所得補償交付金)を受けられるよう、生産調整にご協力いただき、配分された目標面積どおりの作付けをお願いします。

米の生産調整に引き続きご理解・ご協力ください!

23年秋に実施した営農計画調査結果によれば、24年産水稻計画面積は、県に配分された24年産米生産数量目標を843ha超過しています。

超過分については、大豆や野菜などの転作作物に積極的に取り組んでいただくか、**飼料用米**などの転作扱いとなる**新規需要米**に取り組むなど、**水田の有効活用と自給率の向上に貢献いただくことを是非ご検討ください。**



集落ビジョンを作りましょう!

元気で農業を続けている皆様へ

集落の中で、空いている田んぼが広がっていませんか?

集落の皆さんで話し合い、地域の水田を守るビジョン(集落ビジョン)を考えませんか!



集落の将来の農業をまとめたビジョンづくり

人

○出し手農家と受け手農家の明確化

集落の実態調査やアンケート調査等を行い、離農や規模縮小農家、現状維持農家、規模拡大農家を明らかにし、集落の農地を担う人や体制、方法を皆さんで考えましょう。

農地

○農地利用マップの作成

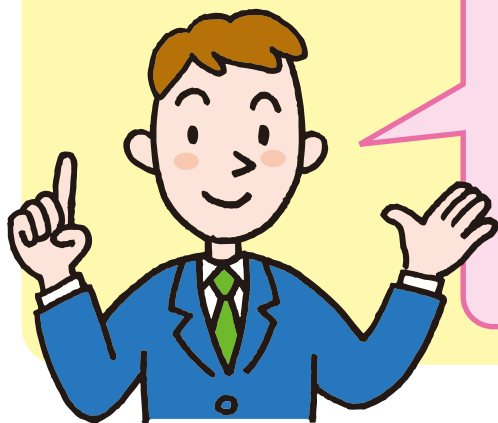
集落内の農地利用の現状と将来(10年後)の農地の状況を地図に色分けします。この地図を参考に将来の農地利用についてだれが、どの農地を管理するのか皆さんで相談しましょう。

もの
(機械)

○農業用機械の整理や導入計画の作成

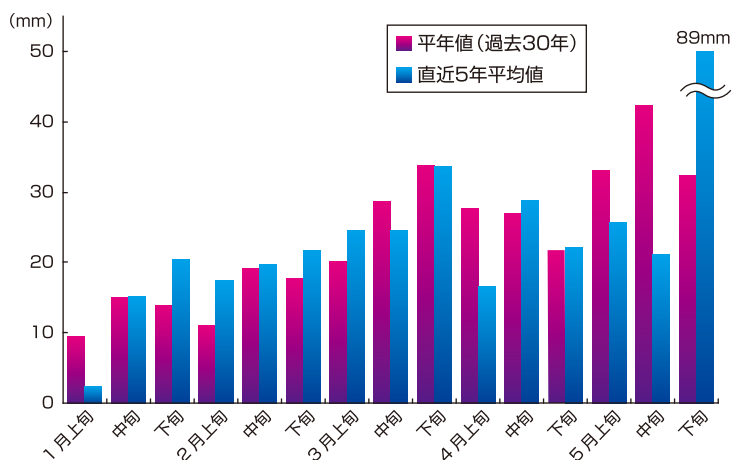
集落内の現況の農業用機械を調査し、将来、不要となる機械の整理や必要となる機械の導入計画を作り、低コスト化を目指しましょう。

女性や高齢者、担い手など集落のみんなが安心して暮らせるよう、最も適した取り組み方法や組織の形を集落自らが考え、まとめていくのが集落ビジョンです。「低コスト化」や「労力の補完」、「生産性の向上」、「農地の保全」、「地域のコミュニケーションづくり」などを考えながら地域の実情に応じたビジョンを作りましょう。



実り豊かな麦秋に向けて 引き続き排水対策の徹底と基本技術の励行を!

麦生育期間の降水量と排水対策



麦生育期間(1月～5月)の降水量(高松地方気象台)

麦出芽後の生育期間の降水量は、平年値と直近5年平均値は大きく変わりませんが、土入れや追肥時期の1月下旬から3月上旬にかけて、平年値をやや上回っています。

このことから、「**重要な管理時期には雨が多い**」ことを念頭に、排水対策の徹底を図りましょう。



○土入れ作業(排水溝の補修・点検を兼ねて)

播種時に設置した排水溝は、降雨などにより溝が埋まり排水が十分に行えなくなりますので、排水溝の補修・点検を兼ねて土入れを行い、排水を図りましょう。

なお、土入れは中期除草剤処理前や、追肥後に行うと、それぞれの効果が高まりますが、麦の生育状況や排水状況に応じ、土入れ作業を行ってください。

追肥と雑草防除

「麦は肥料でとれ」といわれ、施肥が少ないと収量が低下しますが、多すぎると倒伏や品質低下を招きます。特に追肥はその後の生育や収量に大きく影響しますので、麦の生育に応じた適正な施肥に努めて下さい。

○追肥時期と施肥量の目安(基肥一発肥料体系を除く)

品 種	追肥時期	肥料名 (いずれかを使用)	施肥量(10アール当たり)	
			壤質・砂質田	粘質田
「イチバンボシ」	2月下旬～3月初旬	硫加磷安402	20kg (25kg)	25kg (30kg)
「さぬきの夢2000」	2月上旬～3月初旬	朝日BB488		
「さぬきの夢2009」	2月中旬～3月上旬	PKセーブ488		

○「イチバンボシ」で1月に黄化がみられる場合、追肥を10kg施用し、残りを2月下旬から3月初旬に施用して下さい。

※()内は「さぬきの夢2009」の施肥量です。

○雑草防除

雑草が繁茂すると、収量が大幅に減少するだけでなく、麦の品質低下を招きます。中期除草剤等により雑草防除に努めて下さい。なお、除草剤は「麦栽培しおり」でご確認下さい。

～除草剤の使用にあたっては、農薬の飛散防止に努めましょう～

「所得補償交付金の数量払」の仕組みを踏まえ、収量品質の向上を!

県オリジナル品種「おいでまい」を 県産米消費拡大の起爆剤に!

国から配分される都道府県別の生産数量目標は、各都道府県の需要実績に基づいて算定されるため、配分数量を確保するためには、県産米の消費拡大が必要です。

香川県では、県オリジナル品種「おいでまい」の生産振興に取り組んでいます(下記作付計画)。

「おいでまい」は、平成24年までは、種子の増産中であり、誰でも作付けができる状態ではありませんが、今後も需要に応じた生産を行う必要があるため、「おいでまい」の栽培を契機に、他の品種でも、品質の向上に努め、実需者や消費者の評価を高めることが必要となっています。



みなさんは、もう
食べましたか?
香川の新しいお米
「おいでまい」!!

県内スーパーで販売中!
数に限りがありますので
お早めどうぞ!!

今後の販売戦略策定のために購入者アンケートを実施中です。
購入された方は、アンケート調査にご協力を!

購入者アンケートに答えて
プレゼントを当てよう!

さぬき米

検索

「おいでまい」作付計画	平成23年産	平成24年産	平成25年産
	10ha	25ha	500ha

<訂正>

第43号(23年10月1日発行)8頁の記事に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫びいたします。

(誤)

綾歌南部地域農業再生協議会

(正)

綾川町地域農業再生協議会

○なお、JA香川県綾坂地区営農センター及びJA香川県丸亀支店は、水田部会等の事務局ではなく、農業者戸別所得補償制度に係るJAの窓口です。

●内容に関するお問い合わせ先

高松地域センター(旧香川農政事務所) 農政推進グループ TEL:087-831-8185
香川県農協中央会指導部指導課 TEL:087-825-2503
香川県農政水産部農業生産流通課 TEL:087-832-3418